

一関市議会 総務常任委員会 記録

会議年月日	令和3年11月9日(火)			
会議時間	開会	13時00分	閉会	13時27分
場 所	第4委員会室			
出席委員	委員長 沼倉 憲二		副委員長 佐藤 幸淑	
	委員 小岩 寿一		委員 千葉 栄生	
	委員 佐々木 久助		委員 佐藤 浩	
	委員 武田 ユキ子		委員 千葉 幸男	
遅刻	遅刻 なし			
早退	早退 なし			
欠席委員	欠席 なし			
事務局職員	千葉局長補佐兼議事係長			
出席説明員				
本日の会議に付した事件	・所管事務調査について			
議事の経過	別紙のとおり			

総務常任委員会記録

令和3年11月9日

(開会 午後1時00分)

委員長 : ただいまの出席委員は8名であります。

全員の出席ですので、これより本日の委員会を開会します。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

本日の案件は、御案内のとおりであります。

所管事務調査についてを議題といたします。

今後の所管事務調査について、皆さんと御協議したいと思いますが、前回の委員会の際に、当常任委員会の所管する分野の中で、委員の皆さんからテーマを提出してもらい委員会の中で審議を深めていきたいということで、皆さんと協議をしたところございまして、結果として14件の案件につきまして御提示がありました。

お手元の一覧表にまとめておりますので、ごらん賜りたいと思います。

いずれも当委員会に関連する案件でありますので、この中から、優先的と申しますか、皆さんと協議をする事項の順番をつけるというか、そのように進めながら、中身を深めていきたいと思います。

お手元の一覧表は既にごらんになっていると思いますので、この取り扱いについて、皆さん方から御意見をお願いしたいと思います。

佐藤浩委員。

佐藤(浩)委員 : いずれ、これは私どもの所管事務ということで、全てがやはり大事なことになるので、皆さんから挙げてもらったのは重点的に調査したいという思いでしょうから、順番とかということよりも、まず、前回話があった、総務常任委員会の定期的な委員会の開催ということで、例えば、今月、来月開催する中で、この内容について協議するというように、優先順位というよりも、そのようにやっていくという確認をすればいいのではないかと思います。

そのほかにも、当局側からの提案事項も出てくると思いますので、それとは別に、今回挙げた項目について総務常任委員会でやっていくということではいかがでしょうか。

委員長 : 武田委員。

武田委員 : 佐藤委員がおっしゃった、そのとおりだと思います。

この中だと、大体方向性として似通ったところもあったりするので、それらを大別する形で、それに近いものについては一括で、そういう方向性を示しながらやっていく必要があると思いますし、これまでの常任委員会の活動とは全く切り離れた考え方でいかないと駄目ではないかというのが、これが、前回私が話した時の原点です。

ですので、委員長の腹づもりをまず聞いておかないとわからないところがあるのですが、どのような形でやっていこうとするのか、それらに基づいて、今のようものがどういうタイミングで、当局とのすり合わせというか、終わったところに調査してもしよがないものがあつたりとか、足並みをそろえていかなければならぬのであれば、それを先駆的に勉強しておかなければならないことが多々あると思うので、その辺の取り組みのあり方というのは、やはり委員長からお示しをいただく必要があると思います。

委員長：千葉幸男委員。

千葉（幸）委員：各部ごとに整理して、ごちゃごちゃとまぜないで、一連の流れの中で、毎月、定例的にやるのであれば、委員長と副委員長で相談しながら、部を超えた内容が同じ日にならないように、なるべく効率よくやっていけるようお願いしたいと思います。

委員長：そのほか、御意見ありませんか。

（「なし」の声あり）

委員長：委員長としては、御提示ありましたテーマについては、順次、一定の現状あるいは課題、それからそういうものを踏まえて1つずつまとまりのある審議をしていきたいと思っております。

今まで、どちらかというと委員会活動は受け身的な、当局からきたものを審査するという姿勢が強かったのですけれども、今回は皆さん方からこういう項目が出ておりますので、これを、今お話あったように、担当部単位で、当局の説明を受けながら、中身の質疑を深めながら、議会の立場からチェックというか、あるいは中身の確認を深めていきたいと、そういう手法で取り組んでいければいいのかなと思っております。

したがって、これから定期的な委員会を開催したいと思いますので、その際に、2つ3つのテーマを取り上げまして、これについて、一定の成果が出るまで審議を深めながら、この14項目をまとめていきたいと思っております。

この表の脇に担当課が書いておりますので、とりあえずこういう項目について、現在の取り組み、そういうものはどうなっているか説明してもらって、それに対し

て皆さんで質疑して、あるいは取りまとめをして、委員会としてまとめをつくっていきたいと思いますので、そういう方向で取り進めたいと思っておりますし、具体的な取り進め方は副委員長と相談しながら、開催していきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思いますが、とにかく欲張らないで、一定の成果に必ずまとまりがつくような内容で、こういう項目を、まとめていきたいと思っておりますが、そういう取り組みでいいでしょうか。

佐藤浩委員。

佐藤（浩）委員：そういう方向でいいと思うのですが、先ほど武田委員もおっしゃったように、今までのやり方とは違うのだということは、やはり委員会の中で、議員間討議も行いながら、1つの成果を出していくという、例えば、1つの調査項目についても、当局側の説明で終わるのではなくて、それをこうすべきではないかということの、1つのそれと、当委員会の意見がまとまるような格好でやっていくには、やはり定期的な委員会の開催が必要ではないかと。

そのめど、1カ月に1回だか、1カ月に2回だか、おおむね何曜日がいいとかというようなことは、委員長からお示しいただければありがたいなと思います。

ちょっとその辺を示していただきたいと思います。

委員長：いずれ今のお話にあったように、とりあえず担当課の調査項目の説明、現状等を聞いた後に、委員会として意見を交換しながら、委員会としてのまとめを持っていくという進め方で取り組んでいきたいと思います。

武田委員。

武田委員：これまでの長い経験から言うと、大体、その成果品ができた、そろそろ世の中に出したい、その1週間ぐらい前に常任委員会の委員に説明をして、そしてどうでしょうかという話になります。

そうすると、もう印刷待ちか、あるいは印刷が既にできるかもしれないような、そういう中で、簡単に言ってみれば、ガス抜きされているような状況なのです。

これが、結果的に議会が機能していない、機能させることができないような仕組みになっているような感じに、私たちが甘んじてきたところもあります。

ですから、先んじてこういうのはどうなっているのだということを、逐一、計画の途中、途中でチェックを入れて、その成果品に至る以前に、議会なり委員会の、そういう、その考え方を、そこの中に差し込んでいかなければならないということなのだ、私は思っているのです。

そのための議員間討議ということになりますから、その最終的なものになると、かなり今度は、そこのところの調整が難しくなりますが、そういうことをしていくためには、今委員長がおっしゃったように、あるいは佐藤委員がおっしゃったように、定期的に、私どもの都合が優先的に、そこは避けるような形か何かでやってい

かなければならないですし、いずれこの説明については、1日かけてもいいから、早急に全部のものが、私たちが掌握できるものは掌握していかなければならないということになるかと思いますので、その辺を御留意いただきながら、正副委員長でお願いしたいと思います。

委員長 : そのほか、御意見ありませんか。

(「なし」の声あり)

委員長 : 皆さんの御意見ですと、定期的な委員会の開催をしながら、でき上がったものの審議ではなくて、委員の意見も十分に反映できるような、その審議をしながら、タイムリーな対応をとっていく必要があるというような御意見ではないかと思えますけれども、全く、私も同感でありまして、計画なども追認している、そのような今の議会の内容ですので、そういう先々に先取りしたような活動をしながら、反映できるような仕組みに持っていければ、委員会の機能が果たせるのではないかと思います。

したがって、いろいろ御意見がありますけれども、この14項目をひと通り全部説明してもらおうと、かなりの日時がかかると思いますが、その辺もう少し皆さん方から御意見をいただき、進め方を具体的に詰めたいと思いますが、いかがでしょうか。

暫時休憩します。

(休憩 13 : 13～13 : 25)

委員長 : 再開いたします。

当委員会の今後の進め方につきましては、御提示された項目のうち、税務課の項目については、内容をシンプルにしながら項目を整理して、それから最後の項目は当委員会の統計分野だけにはとどまりませんので、これは審議の対象としないというようなことで、その他の項目につきましては、月に1回以上の会議を持ちながら、担当部署の説明をいただき、そして、委員会として審議を深めながら、取りまとめを行なっていくということで今後進めることでいいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、そのように進めたいと思います。

なお具体的な日程につきましては、副委員長と相談しながら、早目に連絡をしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、この委員会の皆さんからのテーマでありますし、そのほかに当局から

来る案件については、既存とおりの進め方で対応したいと思いますので、その辺の日程を調整しながら、委員会を開催したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、意見交換を終わります。

今後の所管事務調査として、ただいま申し上げましたような方向で取り進めたいと思ひます。

詳しい日程につきましては、正副委員長に御一任願ひたいと思ひますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、そのように決定しました。

なお、日程が決まり次第、開催通知を送付します。

以上で、所管事務調査についての協議は終わります。

次に、その他に入ります。

委員の皆さんから何かございますか。

(「なし」の声あり)

委員長 : ないようでありますので、以上で予定した案件は終わります。

本日の委員会はこれにて閉会いたします。

御苦勞さまでした。

(閉会 午後1時27分)